

【開催主旨】

第5回木曾川上流水防災協議会（岐阜ブロック）を開催し、緊急行動計画の改定に伴う規約、取組方針の改定について協議しました。また、沿川の自治体や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための取組のフォローアップを実施し、岐阜市長、岐阜地方気象台長、岐阜県河川課長、岐阜小学校長より取組事例についてご紹介いただきました。

【開催概要】

開催日：令和元年5月10日（金）

会場：都ホテル岐阜長良川 2階 ボールルームA

出席者：岐阜市長、関市長、瑞穂市長、笠松町長、神戸町長、輪之内町長、揖斐川町長、大野町長、北方町長、大垣市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、可児市、本巣市、海津市、岐南町、養老町、安八町、池田町、木曾川右岸地帯水防事務組合、揖斐川水防事務組合、岐阜県危機管理部、岐阜県県土整備部、岐阜県岐阜土木事務所長、岐阜県揖斐土木事務所長、岐阜県美濃土木事務所長、岐阜県可茂土木事務所長、岐阜県郡上土木事務所長、岐阜県大垣土木事務所、岐阜地方気象台長、（独）水資源機構中部支社事業部長、中部電力株式会社岐阜水力センター所長、関西電力株式会社水力事業本部今渡水力センター所長、イビデン株式会社エネルギー統括部長、陸上自衛隊第35普通科連隊、新丸山ダム工事事務所長、丸山ダム管理所長、木曾川下流河川事務所長、木曾川上流河川事務所長

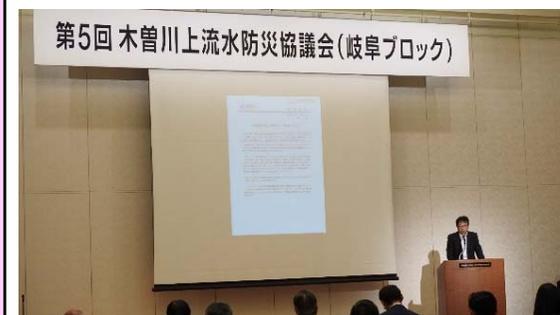
議 事：①木曾川上流水防災協議会規約の一部改定について
②木曾川上流水防災協議会における取り組みのフォローアップ等について
③取組事例の紹介
○各機関の取組事例等について
岐阜市 柴橋市長、岐阜地方気象台 川嶋台長、岐阜県河川課 井上課長
○防災・河川環境教育の取組事例について 岐阜小学校 藤田校長

【協議会スケジュール】

- 第1回協議会 ※協議会立ち上げ
・岐阜ブロック（平成28年5月12日）、愛知ブロック（平成28年7月5日）
- 第2回協議会 ※取組方針の策定
・岐阜・愛知ブロック合同開催（平成28年8月29日）
- 第3回協議会 ※水防法改正に伴う今後の展開、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成29年5月11日）、愛知ブロック（平成29年8月10日）
- 第4回協議会 ※水防法改正に伴う法定協議会への移行、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（平成30年5月10日）、愛知ブロック（平成30年7月17日）
- 第5回協議会 ※緊急行動計画の改定に伴う規約、取組方針の改定、取組のフォローアップ、意見交換等
・岐阜ブロック（令和元年5月10日）、愛知ブロック（令和元年7月開催予定）

第5回木曾川上流水防災協議会
（岐阜ブロック）の開催状況

取組事例の紹介（岐阜市長）



取組事例の紹介（岐阜地方気象台長）

【柴橋岐阜市長】



- ・岐阜市では、迅速な避難と被害の最小化に向けた住民の主体的な避難行動を促す取組として、長良川のハザードマップの更新、「岐阜市総合防災安心読本」の配布、広報文・HP・SNSでの多角的な災害情報の配信等を進めている。
- ・また、要配慮者の避難対策として、浸水想定区域内の要配慮者利用施設にて避難行動の集団指導を実施している。
- ・地元の小中学生を対象とした啓発活動、避難のあり方を考えるシンポジウムを木曾川上流河川事務所と共催で開催した。
- ・国土交通大臣が参加した木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練への参加や、毎年実施している岐阜市水防連合演習等の訓練を活かし、昨年7月豪雨において、水防工法を的確に実施することができた。
- ・陸間訓練を毎年実施し、昨年の14年ぶりの長良・大宮陸間の全閉においても迅速に対応することができた。
- ・洪水氾濫の被害軽減として、平成29年度より毎年河川管理者が実施する排水ポンプ車の操作訓練に参加させて頂いており、その結果として、昨年7月豪雨において岐阜市初となる排水ポンプ車の派遣要請、排水活動の実施を計画どおり行うことができ、被害軽減及び早期の復旧を図ることができた。
- ・今後の課題としては、災害時の自助について市民の皆様の中で啓発をしながら、今後もさらなる策を進めていきたい。

【川嶋岐阜地方気象台長】



- ・気象庁では、昨年スーパーコンピューターを更新し、台風強度予想の計算能力が向上した。これにより、従来3日先までしか分からなかった最大風速、暴風警戒域などの予測が5日先まで可能となった。
- ・また、暴風域に入る確率も5日先まで予測可能となり、自分の暮らす地域がいつ危険に晒されるのかが簡単に分かるようになった。今後活用していただきたい。
- ・台風強度予想は1日4回発表されるので、台風接近時のタイムラインに沿った防災関係機関の体制の確認等に活用していただきたい。

【藤田岐阜小学校長】



- ・岐阜小学校は、平成20年度の開校時からコミュニティスクールとして、ふるさと学習を展開している。
- ・平成30年度は、防災教育の一旦としてシンポジウムに参加し、6年生のふるさと学習の集大成として、平成30年7月豪雨時に実際に自分たちが行ったことを授業形式で発表した。
- ・今年度の取組として、11月1日に全国小学校社会科研究協議会岐阜大会の会場校として、全学級で授業公開を行う。4年生では、長良川の水害をとりあげ、自然災害を自らのこととして、選択・判断が出来るような授業を目指していく。

【岐阜県】

「井上河川課長」



- ・大洪水時の被害を想像し、準備や洪水時の対応をすることが重要。
- ・水害危険情報図を公表するので、避難勧告の対象区域の絞込み等に活用していただきたい
- ・危機管理型水位計に避難判断の参考となる推移を示しているの、避難の判断材料として活用していただきたい。

【木曾川上流河川事務所】

「堀事務所長」



- ・緊急行動計画の改定に基づき、2020年を目途とした水防災協議会の役員拡充等に臨んでいる。
- ・防災情報として、現在、緊急速報メールを無償で発信している。
- ・防災環境教育を通じて、幼児でも防災・治水の意識を持てるよう努めている。
- ・伊勢湾台風60年、7月豪雨から1年という節目に、改めて協議会構成員と議論を深めていきたい。